

ニッセイ インターネットアンケート ～「勤労感謝の日」について～

日本生命保険相互会社(社長:清水博)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューの一つとして、ホームページ(<https://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「勤労感謝の日」に関するアンケート調査を実施いたしました。

《アンケート概要》

- 実施期間 : 2022 年 10 月 1 日(土)～10 月 13 日(木)
- 実施方法 : インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
- 回答者数 : 12,634 名(男性:6,294 名、女性:6,216 名、その他・未回答:124 名)

＜年代別回答者数＞

[名]

年代		～20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代～	合計
	男性	322	787	1,186	2,098	1,321	580	6,294
	女性	524	1,011	1,230	1,914	1,037	500	6,216
	合計	846	1,798	2,416	4,012	2,358	1,080	
占率		6.7%	14.3%	19.2%	31.8%	18.7%	8.6%	

《アンケート結果のポイント》

ポイント①

質問 1～7

【働き方・労働時間について】

○昨年と比較して、時間外労働時間が「変わらない」と回答した方は 66.2%と最も多く、次いで「増えた」と回答した方は全体で 17.0%となった。
おおむね年代が低いほど「増えた」と回答した割合が高い傾向にあった。

【テレワークについて】

○テレワークを「していない」と回答した方のうち、今後「テレワークを実施したい」と回答した方は 21.9%、「テレワークを実施したくない」と回答した方は 43.4%となった。

ポイント②

質問 8～12

【飲みニケーションについて】

○職場の方との飲みニケーションが「必要」「どちらかといえば必要」と回答した方は、全体で 45.6%となり昨年から 7.4pt 増加したが、過年度(2020 年度は 54.3%、2019 年度は 57.3%)と比べると減っている。

ポイント③

質問 13～20

【休暇について】

○「今より休暇を増やしたい」と回答した 55.7%のうち、「給与が減っても休暇を増やしたい」と回答した方は 36.3%、「給与が減るなら休暇を増やしたくない」と回答した方は 63.7%となった。

【副業について】

○副業について、「興味がない」と回答した方が 44.3%と最も多かった。次いで「興味はあるがしていない」と回答した方が 41.1%となった。

質問1 【働き方・労働時間について】昨年と比較して、時間外労働時間は増えましたか？減りましたか？（回答者数：9,650名）

○昨年と比較して、時間外労働時間が「変わらない」と回答した方は66.2%と最も多く、次いで「増えた」と回答した方は全体で17.0%となった。

○おおむね年代が低いほど「増えた」と回答した割合が高い傾向にあった。

■ 昨年度と比較して時間外労働時間が増えたか <男女別・年代別>

(%)

内容	全体			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
		男性	女性						
増えた	17.0	16.4	17.6	28.1	21.0	21.1	15.2	7.7	3.1
減った	16.8	17.0	16.7	16.7	18.6	14.5	16.8	18.3	17.0
変わらない	66.2	66.5	65.7	55.1	60.3	64.4	68.0	74.0	79.9

質問2 仕事・会社で何に対してストレスを感じていますか？（回答者数：9,231名）※複数回答可

○仕事・会社で感じるストレスは、昨年度の結果と同様に「給与が低い」と回答した方が35.2%と最も多く、次いで「やるべきことが多すぎる」と回答した方が25.3%となった。

○昨年3位となった「コロナ禍での新しい働き方（テレワーク等）」（19.4%）は、今回14位（4.9%）と順位を下げた（▲14.5pt）。

■ 何に対してストレスを感じるか <男女別・年代別>

(%)

順位	内容	全体			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
			男性	女性						
1	給与が低い	35.2	33.1	37.5	48.4	42.4	36.6	31.0	32.0	13.5
2	やるべきことが多すぎる	25.3	25.1	25.7	26.9	28.9	28.4	25.9	17.3	8.0
3	休暇が取得しにくい	13.8	13.3	14.3	16.2	14.8	16.1	14.2	8.2	6.8
4	勤務時間(残業が多い)	12.8	13.9	11.5	21.1	19.5	14.5	11.0	5.0	0.8
5	会社の将来性	12.2	14.2	10.0	12.3	14.2	14.5	12.4	7.2	4.6
6	職場の雰囲気(人間関係)が悪い	11.5	10.4	12.7	10.7	13.1	13.9	11.8	7.1	3.0
：										
14	コロナ禍での新しい働き方(テレワーク等)	4.9	4.9	4.8	5.7	5.8	3.6	5.1	4.8	4.2

■ (2021年度回答) 何に対してストレスを感じるか <男女別・年代別>

(%)

順位	内容	全体			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
			男性	女性						
1	給与が低い	25.3	23.2	28.3	32.6	30.7	23.8	24.4	22.4	12.3
2	やるべきことが多すぎる	22.8	22.5	23.3	19.5	29.5	25.5	23.3	13.8	9.7
3	コロナ禍での新しい働き方(テレワーク等)	19.4	20.7	17.4	17.7	19.2	19.1	19.7	18.1	20.6
4	会社の将来性	11.7	13.3	9.7	7.9	13.0	11.9	11.9	10.4	5.2
5	勤務時間(残業が多い)	11.3	12.1	10.5	17.7	19.0	9.4	9.4	3.0	5.8
6	職場の雰囲気(人間関係)が悪い	10.1	9.2	11.4	9.7	10.6	10.4	10.4	5.2	5.2

質問3 【テレワークについて】現在、テレワークはどのくらいの頻度で実施していますか？

(回答者数：7,416名) ※パート・アルバイト・自営業・自由業・専業主婦・専業主夫・無職・学生・その他を除く

質問4 【現在テレワークを「実施していない」と回答した方への質問】テレワークを今後実施したいですか？(回答者数：5,692名)

※パート・アルバイト・自営業・自由業・専業主婦・専業主夫・無職・学生・その他を除く

質問5 テレワークの頻度をどう思いますか？(回答者数：2,796名)

※パート・アルバイト・自営業・自由業・専業主婦・専業主夫・無職・学生・その他を除く

○テレワークの頻度については、「していない」と回答した方が78.2%となり、昨年(81.6%)と比べてもほぼ同等の結果となった。次いで、「平均週1日」が7.1%となった。

○テレワークを「していない」と回答した方のうち、今後「テレワークを実施したい」と回答した方は21.9%、「テレワークを実施したくない」と回答した方は43.4%となった。

○テレワークの頻度については「ちょうどいい」が43.6%と最も多かった。

■テレワークの頻度 <男女別・年代別>

(%)

内容	全体			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
		男性	女性						
していない	78.2	75.4	82.5	84.8	80.8	79.6	74.7	76.3	85.3
平均週1日	7.1	8.1	5.6	4.1	5.6	7.2	8.9	6.4	2.9
平均週2日	4.9	5.4	4.0	2.9	4.6	4.3	5.5	6.4	1.5
平均週3日	3.2	3.7	2.4	1.8	3.4	2.9	3.6	3.4	0.0
平均週4日	2.8	3.2	2.0	2.5	2.7	2.3	3.2	2.9	5.9
平均週5日以上	3.9	4.2	3.3	3.8	2.9	3.8	4.1	4.5	4.4

■(テレワークを実施「していない」と回答した方)テレワークを今後実施したいか <男女別・年代別>

(%)

内容	全体			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
		男性	女性						
はい	21.9	18.1	27.4	31.0	28.4	21.9	19.0	13.4	12.5
いいえ	43.4	45.2	40.7	37.3	37.8	41.4	45.4	53.7	64.3
どちらでもよい	34.7	36.7	31.9	31.7	33.8	36.7	35.6	32.9	23.2

■テレワークの頻度をどう思うか <男女別・年代別>

(%)

内容	全体			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
		男性	女性						
ちょうどいい	43.6	46.6	37.7	33.5	39.0	40.9	47.1	49.2	60.9
多いので減らしたい	4.5	4.6	4.0	5.9	3.6	3.8	5.1	4.2	4.3
少ないので増やしたい	20.9	19.6	23.5	25.3	27.0	21.9	18.9	14.7	0.0

質問6 テレワークが導入されてよかったことは具体的に何ですか？（回答者数：3,657名）

※複数回答可 ※パート・アルバイト・自営業・自由業・専業主婦・専業主夫・無職・学生・その他を除く

○テレワークが導入されてよかったこととしては、昨年に引き続き「通勤時間が減少したこと」が48.2%と最も多く、次いで「感染リスクが減少したこと」が36.2%、「家事に充てる時間が増加したこと」が19.6%となった。

■テレワークが導入されてよかったこと <男女別・年代別>

(%)

順位	内容	全体		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
		男性	女性							
1	通勤時間が減少したこと	48.2	47.5	49.5	43.7	48.5	49.5	48.9	48.3	14.7
2	感染リスクが減少したこと	36.2	35.3	37.8	33.2	33.1	32.6	38.9	40.8	38.2
3	家事に充てる時間が増加したこと	19.6	15.8	27.3	19.5	27.5	20.8	17.6	13.4	5.9
4	家族と過ごす時間が増えたこと	18.3	18.3	18.2	15.5	24.3	21.3	15.6	15.0	8.8
5	集中して仕事ができること	17.3	17.1	17.7	14.1	19.1	17.0	18.1	15.9	5.9
6	会社のデジタル化が進んだこと	12.7	12.5	13.2	11.9	14.3	11.4	13.7	10.7	2.9

質問7 テレワークについて何に対してストレスを感じていますか（回答者数：3,737名）※複数回答可

※パート・アルバイト・自営業・自由業・専業主婦・専業主夫・無職・学生・その他を除く

○テレワークでストレスと覚えることについては、「コミュニケーションが取りにくいこと」が43.1%と最も多く、次いで「出社しないとできない業務が多くあること」が26.5%となった。

○「コミュニケーションが取りにくいこと」について、男女比では、男性が44.9%と女性に比べて5.8pt高く、年代別では、特に50代が46.0%と高い結果となった。

■テレワークについてストレスを感じていること <男女別・年代別>

(%)

順位	内容	全体		～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
		男性	女性							
1	コミュニケーションが取りにくいこと	43.1	44.9	39.1	35.8	41.8	41.7	46.0	42.6	41.2
2	出社しないとできない業務が多くあること	26.5	24.2	30.5	25.8	30.6	28.2	26.3	19.3	14.7
3	自宅の光熱費が高くなること	20.5	19.1	23.1	20.1	20.5	21.6	20.6	19.1	11.8
4	ストレスを感じることはない	15.3	16.1	13.8	15.8	14.4	15.2	14.9	17.8	14.7
5	自宅に十分な勤務スペースがないこと	13.6	12.9	15.0	10.8	13.6	16.3	13.6	11.4	0.0
6	自宅のネット環境を整えなければならないこと	9.7	8.4	12.3	11.1	11.4	11.1	8.5	8.1	8.8

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上 智紀のコメント>



仕事へのストレスについては、昨年に比べ「給与が低い」が大きく増加し、「コロナ禍での新しい働き方（テレワーク等）」が大きく減少しています。足元の物価の上昇による家計の圧迫が給与面の不満を呼ぶ一方で、コロナ禍の生活様式や働き方が定着してきたことや、テレワークを実施している人が2割に留まっているように、コロナ禍以前のように出社を前提とした働き方に戻す勤務先も増えてきたことが、こうした結果につながったものと思われます。また、実施していない方の中でテレワークを希望しない方が4割と最も多くなっていたことは、職業の特性上、テレワークが適さない場合がある他、テレワークのストレスとしても挙げられている自宅の環境整備や光熱費などの負担が敬遠されているものとも考えられそうです。

質問 8 【飲みニケーション※について】今年度、職場の方との“飲みニケーション”はありましたか？（回答者数：9,470名）※お酒を飲みながら語り合い、親交を深めること

質問 9 昨年度と比べて“飲みニケーション”の頻度は増えましたか？（回答者数：9,438名）

○今年度、職場の方との飲みニケーションが「頻繁にあった」「多少あった」と回答した方は14.3%、「あまりなかった」「なかった」と回答した方は85.7%となった。

○昨年と比べて飲みニケーションの頻度は「変わらない」と回答した方が63.6%だった。

■今年度、職場で“飲みニケーション”はあったか <男女別・年代別>

(%)

内容	全体		男性	女性	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
頻繁にあった	1.7	14.3	2.3	1.1	3.0	2.1	1.4	1.4	1.5	4.4
多少あった	12.6		14.9	10.0	20.3	15.2	12.7	11.3	9.7	8.7
あまりなかった	17.6	85.7	21.8	12.7	20.4	20.7	17.6	16.2	16.5	14.2
なかった	68.1		61.1	76.2	56.4	62.0	68.2	71.0	72.3	72.7

■昨年と比べて“飲みニケーション”の頻度は増えたか <男女別・年代別>

(%)

内容	全体			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
	男性	女性							
増えた	6.7	8.0	5.1	12.5	8.4	6.1	5.9	5.0	5.9
減った	29.7	31.0	28.4	30.3	33.2	30.2	28.8	27.5	27.5
変わらない	63.6	61.0	66.5	57.2	58.4	63.8	65.3	67.5	66.5

質問 10 職場の方との“飲みニケーション”は必要だと思いますか？（回答者数：9,553名）

○職場の方との飲みニケーションが「必要」「どちらかといえば必要」と回答した方は、全体で45.6%となり昨年から7.4pt増加したが、過年度（2020年度は54.3%、2019年度は57.3%）と比べると減っている。

○「必要」「どちらかといえば必要」と回答した方の男女別では、男性は53.0%、女性は37.1%と15.9ptの差があった。

■職場の方と“飲みニケーション”は必要だと思うか <男女別・年代別>

(%)

内容	全体		(%)							
			男性	女性	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
必要	11.2	45.6	14.9	6.9	11.7	11.9	9.3	11.3	12.8	12.8
どちらかといえば必要	34.4		38.1	30.2	30.2	36.3	35.8	34.2	33.4	30.5
どちらかといえば不要	25.6	54.4	21.9	29.8	30.7	25.0	25.8	24.9	25.9	20.3
不要	28.8		25.0	33.0	27.4	26.9	29.1	29.5	28.0	36.5

男性は 53.0%、女性は 37.1%

質問 11 【「必要」「どちらかといえば必要」と回答した方への質問】その理由は何ですか？

(回答者数：4,306名) ※複数回答可

○飲みニケーションが「必要」「どちらかといえば必要」と回答した理由として、「本音を聞ける・距離を縮められるから」と回答した方が全体の 58.9%となり、最も多かった。次いで、「情報収集を行えるから」が 34.2%となった。

■職場での“飲みニケーション”が必要だと思う理由 <男女別・年代別>

(%)

順位	内容	全体			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
		男性	女性							
1	本音を聞ける・距離を縮められるから	58.9	60.2	56.8	51.6	60.1	62.6	61.8	53.7	35.3
2	情報収集を行えるから	34.2	36.1	31.1	28.2	35.2	34.5	35.5	33.1	29.6
3	ストレス発散になるから	30.1	32.2	26.8	23.9	32.0	33.9	29.7	28.7	19.4
4	人脈を広げられるから	29.1	29.1	29.3	29.7	32.4	31.4	28.4	26.3	19.5
5	仕事の悩みを相談できるから	25.9	25.4	26.7	36.8	35.4	28.0	23.1	15.8	17.0
6	お酒が好きだから	14.5	16.6	11.1	19.0	17.9	17.1	12.5	10.4	8.8

質問 12 【「どちらかといえば不要」「不要」と回答した方への質問】その理由は何ですか？

(回答者数：5,009名) ※複数回答可

○飲みニケーションが「どちらかといえば不要」「不要」と回答した理由として、「気を遣うから」と回答した方は全体で 45.2%と最も多く、次いで「仕事の延長とを感じるから」が 34.4%となった。

■職場での“飲みニケーション”が不要だと思う理由 <男女別・年代別>

(%)

順位	内容	全体			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
		男性	女性							
1	気を遣うから	45.2	39.0	50.7	57.2	50.4	50.6	41.9	37.2	21.1
2	仕事の延長とを感じるから	34.4	32.8	35.7	36.7	36.3	36.9	35.7	28.5	12.1
3	お金がもったいないから	28.9	28.3	29.3	38.3	36.1	32.2	27.7	17.3	10.8
4	お酒が好きではないから	25.3	23.2	27.3	28.1	27.0	24.9	26.3	21.7	17.8
5	拘束時間が長いから	25.0	24.0	25.7	28.2	29.3	28.4	24.6	17.5	8.3
6	職場でコミュニケーションが十分取れているから	17.2	15.6	18.9	17.4	15.4	17.4	18.7	16.7	12.7

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上 智紀のコメント>

職場での飲みニケーションは昨年同様、開催を控える動きが継続している様子がみてとれます。入社しての働き方も増えてはいるものの、感染防止の観点から職場内での飲食を控える動きが定着しているものと思われます。

飲みニケーションが必要と回答した方の割合が昨年比で増加したものの 2020 年以前の水準に戻っていないことは、職場内のコミュニケーションを円滑にする効果への期待がある一方で、酒食をとともにすることの必要性への疑問や感染防止のためにも控えたい意識がせめぎあう状況にあることを示しているのではないのでしょうか。

必要と回答した割合に性別による差があり、酒席においてより気遣いを求められる傾向にあることや、そもそも対人コミュニケーションにおいて相互理解や共感を重視する傾向にある女性の方が低くなっていることも、飲みニケーションの必要性に対する疑問が広がる背景となっているものと考えられそうです。

質問 13 【休暇について】1週間のうち、休暇は平均何日ですか？（回答者数：8,594名）

質問 14 今より休暇を増やしたいと思いますか？（回答者数：8,911名）

質問 15 給与が減少するとしても休暇を増やしたいですか？（回答者数：4,335名）

- 1週間のうち、休暇は「平均2日」と回答した方が77.0%と最も多かった。
- 全体で「今より休暇を増やしたい」と回答した方は55.7%となった。
- 「今より休暇を増やしたい」と回答した55.7%のうち、「給与が減っても休暇を増やしたい」と回答した方は36.3%、「給与が減るなら休暇を増やしたくない」と回答した方は63.7%だった。
- 「今より休暇を増やしたい」と回答した方の割合を勤務時間別でみると、「8時間未満」の方は48.2%、「8～12時間未満」の方は62.1%、「12時間以上」の方は69.2%だった。
- 「給与が減少するとしても休暇を増やしたい」と回答した方の割合を勤務時間別でみると、「8時間未満」の方と「12時間以上」の方が共に35.8%だったのに対して、「8～12時間未満」の方は31.7%だった。

■1週間のうち、休暇は平均何日か <男女別・年代別>

(%)

内容	全体			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
		男性	女性						
1日	10.9	12.2	9.1	13.9	11.5	11.6	10.1	8.3	16.8
2日	77.0	79.3	74.3	78.1	80.2	78.6	80.3	67.0	32.2
3日	6.4	4.3	9.0	4.9	4.5	5.2	5.0	13.1	20.8
4日	2.5	1.3	4.1	0.9	1.5	2.2	2.3	5.1	9.4
5日以上	3.2	2.9	3.5	2.2	2.2	2.4	2.3	6.5	20.8

■今より休暇を増やしたいか

(%)

内容	全体			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
		男性	女性						
増やしたい	55.7	55.8	55.3	65.6	63.3	57.8	55.0	44.1	21.8
減らしたい	1.5	1.1	2.0	2.0	1.4	1.3	1.2	2.4	3.4
そのままだよい	42.8	43.0	42.7	32.4	35.4	40.9	43.8	53.5	74.9

■（今より休暇を増やしたいと回答した方のうち、）給与が減っても休暇を増やしたいか

(%)

内容	全体			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
		男性	女性						
はい	36.3	39.1	32.0	28.4	34.2	31.9	38.9	48.9	53.3
いいえ	63.7	60.9	68.0	71.6	65.8	68.1	61.1	51.1	46.7

■ 今より休暇を増やしたいか <勤務時間別> (回答者数 : 8,177 名)

(%)

内容	占率
8時間未満	48.2
8～12時間未満	62.1
12時間以上	69.2

■ 給与が減少するとしても休暇を増やしたいか <男女別・年代別> (回答者数 : 5,477 名)

(%)

内容	占率
8時間未満	35.8
8～12時間未満	31.7
12時間以上	35.8

質問 16 【副業について】副業をしていますか？ (回答者数 : 9,110 名)

○副業について、「興味がない」と回答した方が 44.3%と最も多かった。

次いで「興味はあるがしていない」と回答した方が 41.1%となった。

○昨年度の結果と比べると「興味がない」と回答した方は 56.9%から、44.3%に減少した。

■ 副業をしているか <男女別・年代別>

(%)

内容	全体								
		男性	女性	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
現在している	7.3	6.5	8.4	6.9	7.3	6.9	7.1	8.5	8.7
かつてしていた	3.8	2.4	5.4	4.2	4.5	4.2	3.1	4.0	3.2
将来的にする予定だ	3.5	3.7	3.3	4.2	4.0	4.2	3.1	2.6	1.8
興味はあるがしていない	41.1	39.5	43.0	45.7	49.4	44.5	40.5	29.5	16.1
興味がない	44.3	47.9	39.9	39.1	34.8	40.2	46.2	55.3	70.2

「興味がない」と回答した方は昨年度より減っている

■ (2021 年度回答) 副業をしているか <年代別>

(%)

内容	年代別									
			～20代		30代		40代		50代	
現在している	6.4	43.1	9.4		8.1		6.1		6.3	
かつてしていた	4.3		3.5	44.9	4.4	53.1	4.2	51.4	4.2	46.3
興味があるがしていない	32.4		32.0		40.6		41.1		35.8	
興味がない	56.9		55.1		46.8		48.5		53.7	

質問 17 【副業に「興味がない」以外を選択した方】その理由はなんですか？

(回答者数：4,147名) ※複数回答可

質問 18 【副業に「興味がない」以外を選択した方】現在している副業の内容や、検討していることはなんですか？ (回答者数：4,452名) ※複数回答可

- 副業に興味がある理由としては、「経済的に余裕を持ちたいため」が61.2%で最も多く、次いで「勤務先の将来に不安を感じたため」が13.0%となった。
- 「副業の内容」や「検討していること」として、「株式投資・FX」と回答した方が24.1%と最も多く、次いで「アンケートモニター」が16.3%となった。

■【副業に「興味がない」以外を選択した方】その理由はなにか＜男女別・年代別＞

(%)

順位	内容	全体								
			男性	女性	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1	経済的に余裕を持ちたいため	61.2	58.1	64.9	69.8	70.8	63.3	60.6	44.6	27.8
2	勤務先の将来に不安を感じたため	13.0	13.1	12.8	10.6	16.0	16.7	12.2	7.4	2.1
3	経済的に困窮しているため	11.2	9.5	13.2	13.2	14.3	13.3	9.5	7.2	4.1
4	余剰資金の有効活用のため	10.4	12.7	7.9	8.0	12.5	9.6	10.6	10.1	7.2
5	人脈を広げるため	10.1	11.2	8.7	5.2	10.3	10.3	11.0	10.6	6.2
6	時間に余裕ができたため	8.7	8.7	8.8	5.7	8.2	8.7	8.5	12.5	6.2

■副業でしていること・検討していること ＜男女別・年代別＞

(%)

順位	内容	全体								
			男性	女性	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
1	株式投資・FX	24.1	30.9	16.7	22.0	30.5	25.1	21.8	21.6	13.2
2	アンケートモニター	16.3	11.8	21.1	20.8	22.4	16.2	13.5	13.7	3.3
3	ネット販売	10.3	10.2	10.6	12.1	13.6	10.4	9.0	7.8	9.9
4	自分の空き時間販売	6.7	6.8	6.6	6.2	7.2	6.5	6.9	6.4	5.5
5	農業	6.6	8.8	4.3	4.2	5.0	7.1	7.7	7.1	4.4
6	不動産投資	6.4	8.6	4.1	4.8	7.8	6.9	6.5	5.2	2.2

質問 19 【副業を「現在している」と回答した方】年間収入全体で、副業の収入が占める割合はどのくらいですか？ (回答者数：1,349名)

質問 20 【副業を「現在している」と回答した方】副業の年間収入はどのくらいですか？ (回答者数：1,154名)

- 副業の年間収入についての割合は、「5%未満」と回答した方が最も多く58.0%、次いで「5～10%未満」と回答した方が12.5%となった。
- 副業の年間収入額は、「50万円以下」と回答した方が70.2%、次いで「51～100万円」と回答した方が11.4%となった。

■副業の収入が占める割合 <男女別・年代別>

(%)

内容	全体			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
		男性	女性						
5%未満	58.0	60.7	54.7	63.8	59.1	65.2	56.0	44.5	72.2
5～10%未満	12.5	11.2	14.2	8.6	14.0	10.5	13.8	15.2	3.7
10～20%未満	10.1	9.9	10.4	11.5	8.7	7.7	11.6	12.8	5.6
20～30%未満	7.3	7.5	7.2	9.6	9.1	7.5	5.9	7.6	5.6
30～40%未満	4.3	3.7	5.1	1.9	4.1	3.1	4.1	7.1	7.4
40～50%未満	3.2	2.4	4.0	1.9	2.4	3.4	4.0	3.3	0.0
50%以上	4.4	4.4	4.4	2.9	2.5	2.7	4.5	9.5	5.6

■副業の年間収入 <男女別・年代別>

(%)

内容	全体			～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
		男性	女性						
50万円以下	70.2	69.7	70.8	84.4	66.3	73.0	68.9	64.3	77.2
51～100万円	11.4	8.8	14.5	5.6	13.5	8.1	11.9	17.3	5.3
101～200万円	9.4	11.2	7.4	5.5	9.3	10.9	8.6	10.7	10.6
201万～300万円	4.8	5.2	4.4	3.3	6.8	5.2	5.4	3.0	1.8
301万円以上	4.1	5.1	2.8	1.1	4.1	2.8	5.1	4.6	5.3

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 井上 智紀^{いのうえ ともき}のコメント>

休暇と給与とのトレードオフの関係では、「給与が減るなら休暇を増やしたくない」と回答する方のほうが多くなっていることは、長年にわたり実質賃金や可処分所得が伸び悩む中、足元の物価高も相まって逼迫している家計が増えていることが背景にあるものと思われます。ただし労働時間別にみた際、8時間未満の方と12時間以上の方で8～12時間未満の方に比べ「給与が減っても休暇を増やしたい」とする方が多くなっていることは、こうした労働時間の方の中に育児や介護などの家庭内労働の担い手でもある方や、長時間労働が常態化している方など、収入の増加より家族の世話や疲労回復を優先する意向が強い方が含まれているためではないでしょうか。

一方で副業については、年代を問わず昨年度に比べ「興味がない」方が減少しているほか、副業を「現在している」とする回答も全世代で僅かながら増加しています。副業に興味がある理由では突出して「経済的に余裕を持ちたいため」が多く、次いで「勤務先の将来に不安を感じたため」が多くなっていることを踏まえれば、今後のさらなる物価上昇や給与の見通しに対する懸念が副業への関心や実際の取り組みを後押ししているものと考えられます。

以 上

2022-2437G, 広報部